

データガバナンス機能の役割

平木俊幸

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター

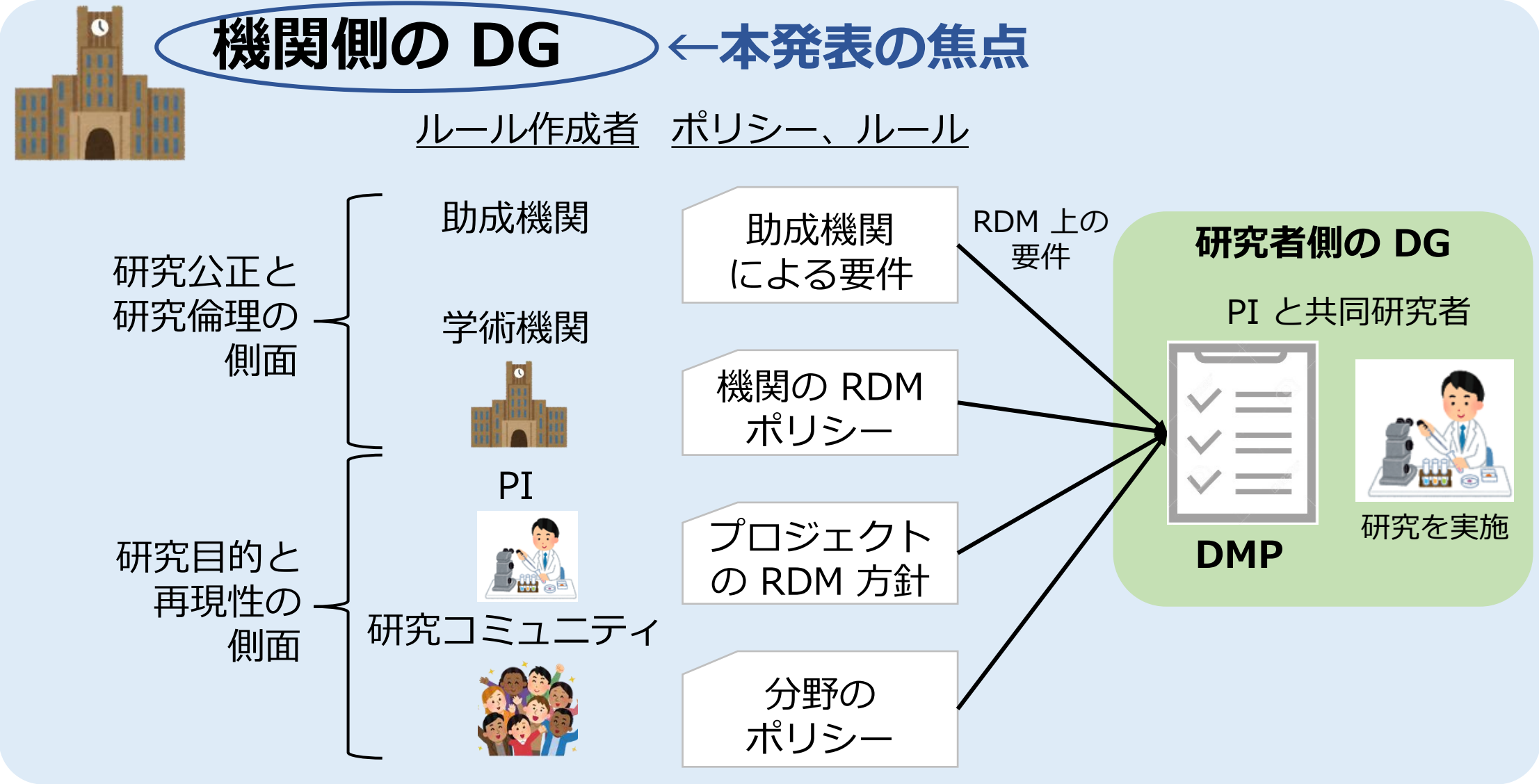
2025年6月17日

目次

1. 私が考えるデータガバナンス（DG）モデル
2. 機関向け DG 機能でポリシーを実効的にするには？
3. 機関向けDGの具体的な機能案
4. 会場への問いかけ

私が考えるデータガバナンス（DG）モデル

- ポリシーとルールの下での研究データ管理（RDM）



機関向け DG 機能でポリシーを実効的にするには？

NII 研究データポリシー [1] の第 6 条：

6. 研究データの管理及び共有・公開に関する原則

研究データの管理及び共有・公開は、次の原則に基づき行うものとする。

一 法令等及び契約の遵守並びに研究データに関する説明責任

二 次に掲げる適正な研究データの取扱い

イ 安全管理措置 **(情報セキュリティ)**

ロ 研究データ、関連情報及び関係する者に関する権利利益の保護 **(個人情報など)**

ハ 研究データの提供元による条件の遵守 **(データ提供者からの条件 (ライセンスなど))**

ニ 研究課題内の研究データの保有主体等の設定と運用 **(共同研究者等の貢献度・権利関係)**

ホ 研究データの共有等に係る条件の整備 **(共有・公開条件)**

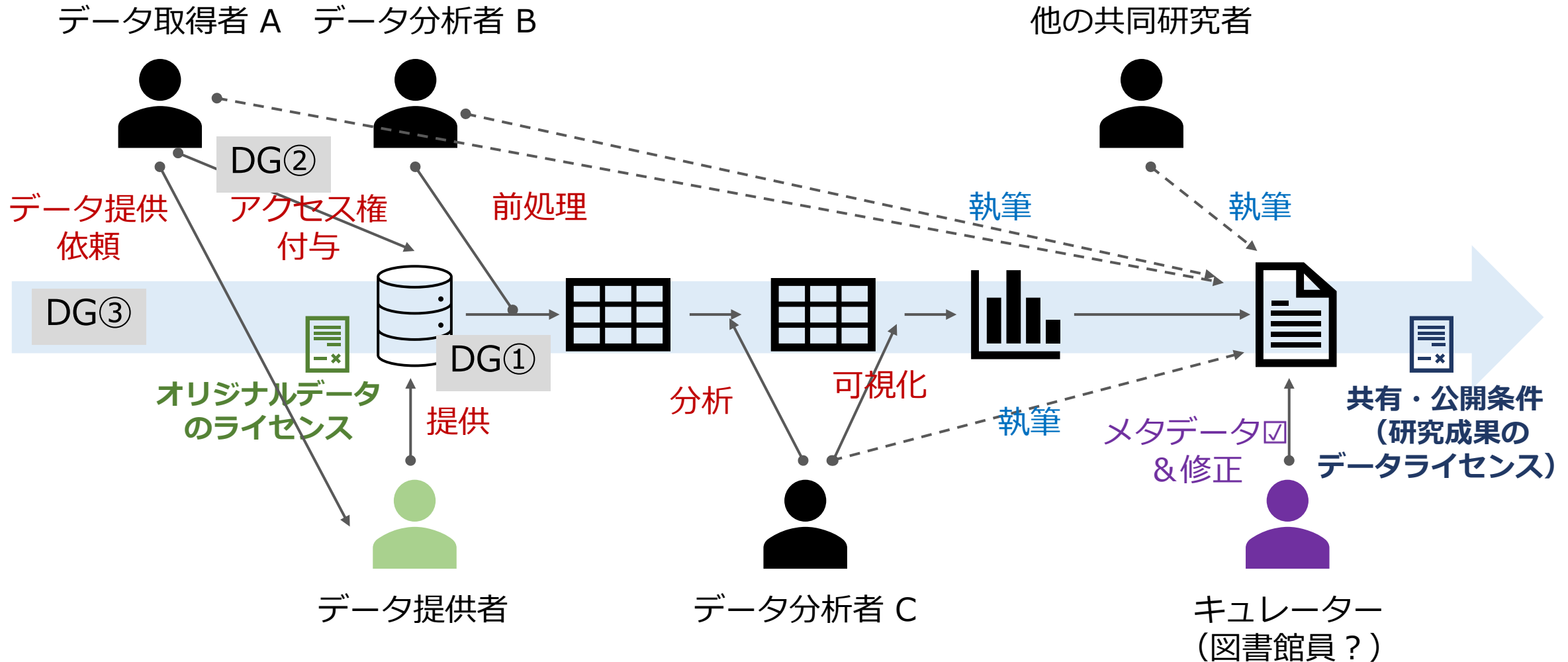
三 研究の公正及び倫理、研究の再現性

四 可能な限り多くの、長期的な研究データの共有・公開

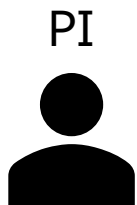
これらに関する
機能案を考える。

機関向け DG 機能のアイデア

時間と共に複雑化するアクセス権と権利関係を追跡できるようにしておく。

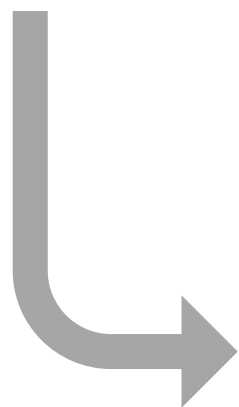


①プロジェクトXの保存場所を決定



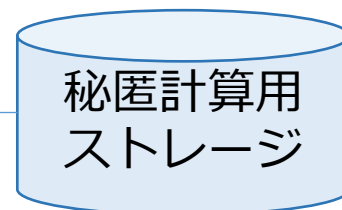
DMP

- データ保存場所
- データ利用者・利用条件
- データ利用条件（詳細）
- データ共有・公開条件

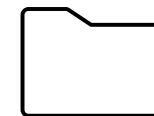


GakuNin RDM

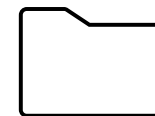
GakuNin RDM



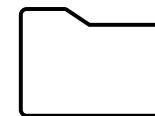
プロジェクトX



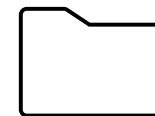
SUB_X1



SUB_X2



SUB_X3



研究データのアクセス権の管理

- ②研究課題ごとの関係者へのアクセス権の付与

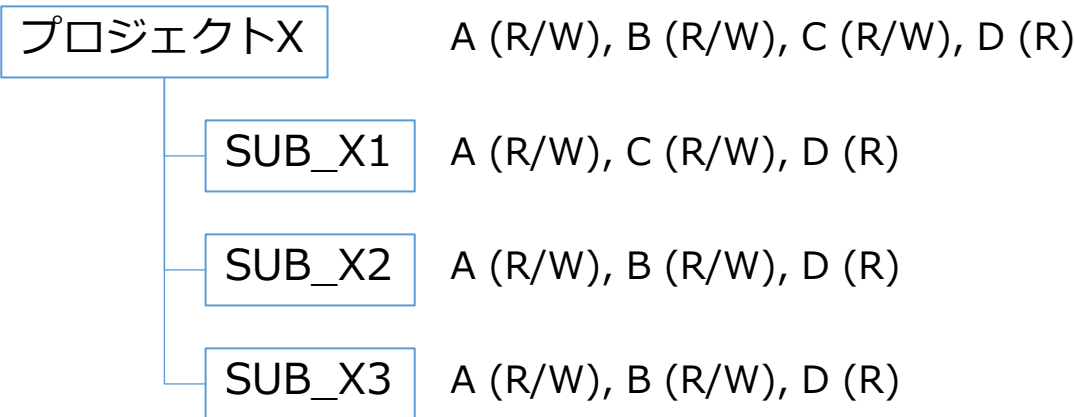
適切なアクセス権管理により研究データのセキュリティを向上する

①研究課題ごとの適切なアクセス権の設定を支援

	ロール	プロジェクトX	SUB_X1	SUB_X2	SUB_X3
A さん	研究代表者	R/W	R/W	R/W	R/W
B さん	研究分担者	R/W		R/W	R/W
C さん	研究分担者	R/W	R/W		
D さん	秘書	R	R	R	R



②プロジェクトに設定反映



DMP

- データ保存場所
- データ利用者・利用条件
- データ利用条件（詳細）
- データ共有・公開条件

アクセス権・ライセンス権を追跡できると何が嬉しい？

- ③研究データの関係者を把握

プロジェクト X（3 年経過）のメンバーリスト、ロールと参加期間

メンバー	ロール	アクセス期間	参加内容
A さん	研究代表者	2025/04/01 ●—————● 現在	データ取得、研究監督
B さん	研究分担者	2025/04/01 ●—————● 現在	
C さん	研究分担者	2025/10/01 ●—————● 現在	
D さん	秘書	2026/04/01 ●—————● 2027/03/31	
E さん	秘書	2025/04/01 ●—————● 現在	
F さん	業者	2025/10/01 ●—————● 現在	データ処理 外注

例えば、ロールが「高く」、参加期間が長いほど上側に表示されるようなビュー案が考えられる。

アクセス権・ライセンス権を追跡できると何が嬉しい？

- ③研究データの関係者を把握

プロジェクト X（3 年経過）のメンバーリスト、ロールと参加期間

メンバー	ロール	アクセス期間	参加内容
A さん	研究代表者	2025/04/01 ●————● 現在	データ取得、研究監督
B さん	研究分担者	2025/04/01 ●————● 現在	
C さん	研究分担者	2025/10/01 ●————● 現在	
D さん	秘書	2026/04/01 ●————● 2027/03/31	
E さん	秘書	2025/04/01 ●————● 現在	
F さん	業者	2025/10/01 ●————● 現在	データ処理

例えば、ロールが「高く」、参加期間が長いほど上側に表示
考えられる。

DMP

- データ保存場所
- データ利用者・利用条件
- データ利用条件（詳細）
- データ共有・公開条件

アクセス権・ライセンス権を追跡できると何が嬉しい？

- ③研究データの関係者を把握

プロジェクト X（3 年経過）のメンバーリスト、ロールと参加期間

✓ : 共著
☑ : 謝辞

メンバー	ロール	アクセス期間	参加内容	論文	データ共有・公開
A さん	研究代表者	2025/04/01●————●現在	データ取得、研究監督	✓	データ共有・公開条件（ライセンス）
B さん	研究分担者	2025/04/01●————●現在		✓	
C さん	研究分担者	2025/10/01●————●現在		✓	
D さん	秘書	2026/04/01●————●2027/03/31			
E さん	秘書	2025/04/01●————●現在			
F さん	業者	2025/10/01●————●現在	データ処理外注	☑	

アクセス権・ライセンス権を追跡できると何が嬉しい？

- ③研究データの関係者を把握

プロジェクト X（3 年経過）のメンバーリスト、ロールと参加期間

✓ : 共著
☑ : 謝辞

メンバー	ロール	アクセス期間	参加内容	論文	データ共有・公開
A さん	研究代表者	2025/04/01●————●現在	データ取得、研究監督	✓	データ共有・公開条件（データ提供条件）
B さん	研究分担者	2025/04/01●————●現在		✓	
C さん	研究分担者	2025/10/01●————●現在		✓	
D さん	秘書	2026/04/01●————●2027/03/31			
E さん	秘書	2025/04/01●————●現在			
F さん	業者	2025/10/01●————●現在	データ管理		

DMP

- データ保存場所
- データ利用者・利用条件
- データ利用条件（詳細）
- データ共有・公開条件

会場への問いかけ

- 機関の研究データポリシーのうち「適正な研究データの取り扱い」についてシステム制御の案を考えました。
- 「研究データの関係者（提供者、分析者、キュレーターなど）やその貢献度・権利関係を可視化・追跡する機能」があれば十分でしょうか？
- 「DMP で研究プロジェクト内の研究データ管理を行う」ことがイメージできましたか？

RCOS

hiraki@nii.ac.jp